

朝鎌倉に到着してチェックを受けたあと、最初に行ったのは長谷寺だった。

「紫陽花寺」の別名を持つ長谷寺なので、シーズンの今は綺麗なグラデーションになるように咲き誇っていた。あの紫陽花のひとつとまりの中でグラデーションが出来上がっていたので少し驚いた。紫陽花の花のように見える部分が実は葉であるのは知っていたので葉脈を見ようと思ってみると、蝶のような形の葉があるのを見つけた。

いい天気で日が照っていたのに思ったより風が涼しかったのが印象深かった。

その次は江ノ電で鎌倉に戻り、銭洗弁財天に行った。

お守りとおみくじを買い参拝した後、小銭を洗いに行った。どれがどれだか区別するために持っている100円玉を全て洗ったのだが、結局お守りが入っていた袋に入れたのであまり意味がなかったかもしれない。

少し戻って違う道で曲がり、次は鶴岡八幡宮に行った。

空腹もあって体力がなく本殿まではいけなかったが、おみくじと自祓いはできた。元々割と厳しめに出るおみくじだと聞いていたので覚悟はしていたが、見事に凶が出た。かなり心に刺さることが書いてあったので、初心に戻って、最低限でも頑張りを維持することを目標にしようと思う。

鎌倉駅に戻って、今度は東口駅前にある「イワタコーヒー店」さんに行った。

分厚いホットケーキが有名なお店で、シンプルにバターとメープルシロップで食べるホットケーキだったのだが、バターがくどすぎず薄すぎずのいい塩梅で、バターだけでも食べられそうなくらい美味しかった。コーヒー店なのにコーヒーそのものは飲まなかった。代わりにではないけれど、季節限定メニューにコーヒーゼリーパフェがあったのでそれを食べた。コーヒーゼリーは市販品のものよりもコーヒーの香りが強く、味も濃くちょうどいい苦さだった。層になっていたミルクプリンも美味しかった。

その後解散のチェックを受け、雨が降っていたが佐助稲荷神社に行くことにした。

銭洗弁財天とほぼ同じ道を辿るので、無計画さがたたりこの時点で同じ道の2往復目に入っていた。でも、道中で少し晴れてすでに地面が乾き始めている所があり、地面から蒸気が上がっていて神秘的だった。これを見れたのは良かったと思う。佐助稲荷に着いた時、雨は止んでいたが、木の葉に溜まった水が落ちる音がまるで雨音のようになっていて綺麗だった。

参拝を済ませて江ノ電に乗り、最後に由比ヶ浜に行った。友達が桜貝を集めていたので一緒になって集めていたら、それなりの数集まった。桜貝は薄めの二枚貝なので、砂浜の奥の方に溜まっている割れ物の多い貝殻のカケラの中を探すより、海藻や木の枝が混じった大きめの漂流物の中を探す方がよく見つかった。

今日一日中でこの6箇所を周って思ったのは、自然と文化が両立されていることが共通していることだ。他にも行けなかったところは数箇所あったけれど、それでも、足を伸ばせば海にも山にも行ける環境でかつ、鎌倉幕府のあった地であるが故の寺社仏閣の多さには驚いた。武家が力を持つ時代だったため、多くの場合男性が参ると良いとされているお寺の方が圧倒的に多かった印象を受けた。普段じゃ周らないような数の聖域をハシゴした上、それぞれの行き先で綺麗なものを見ていい意味で刺激を受けたと思う1日だった。